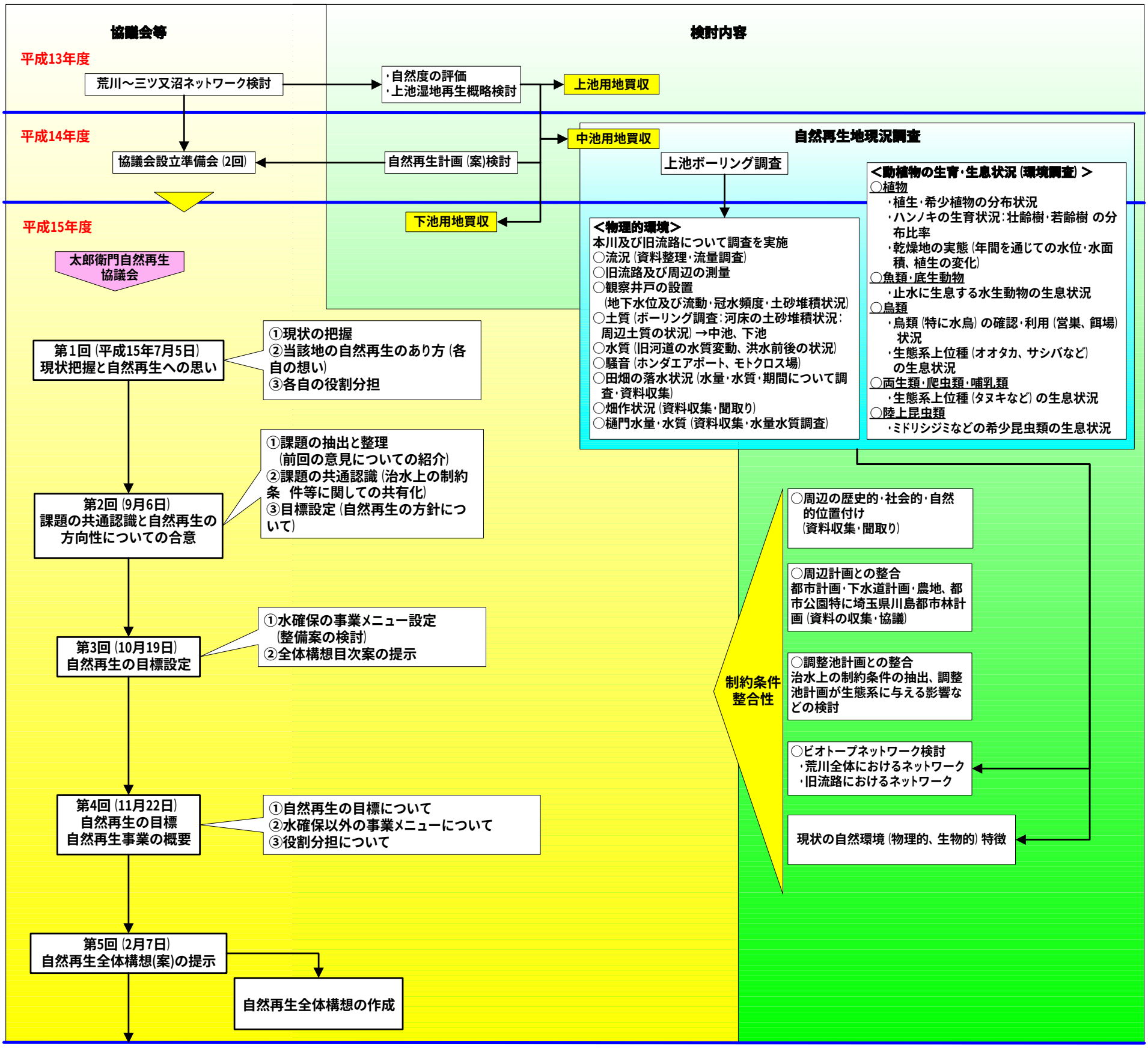
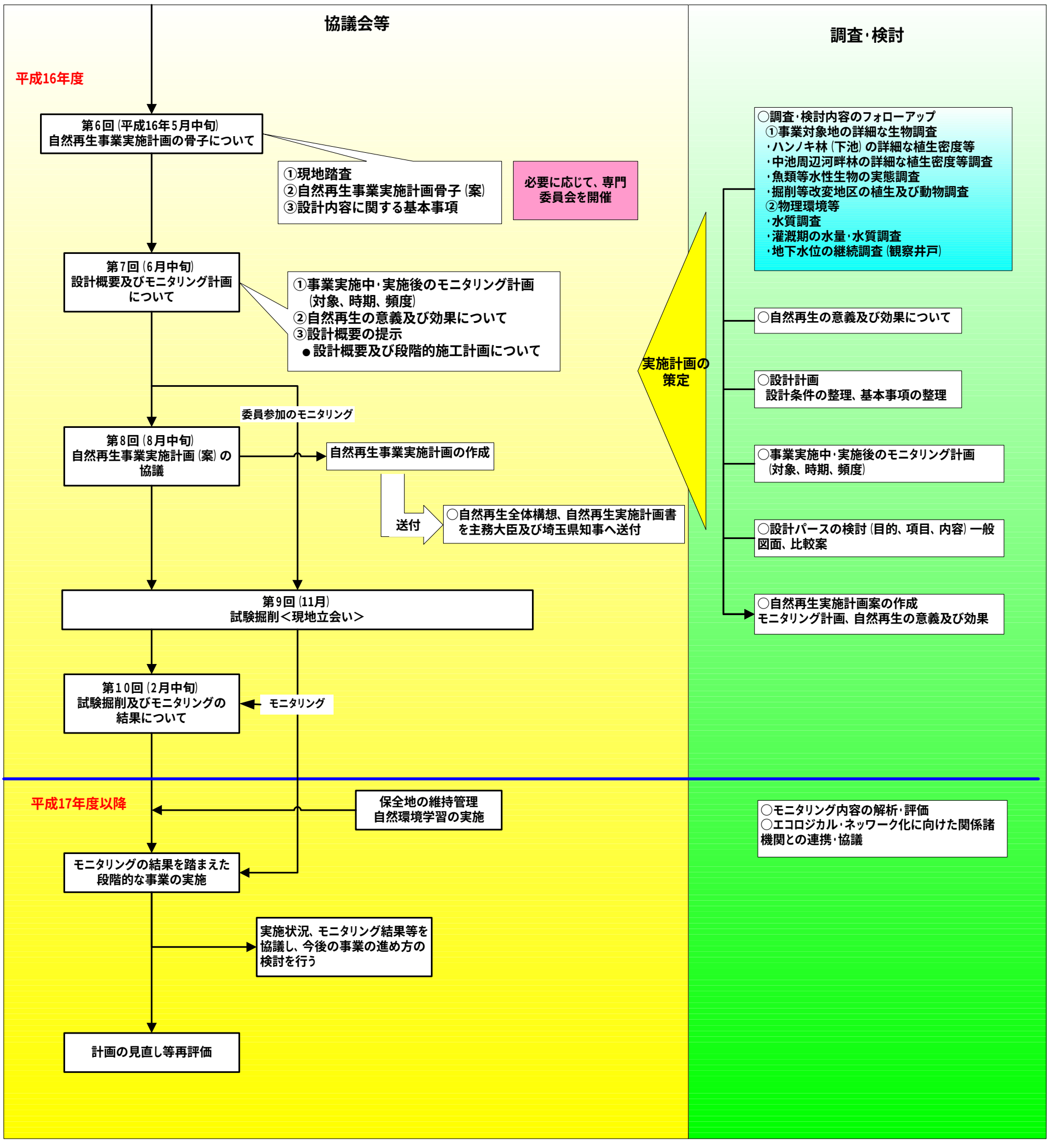
荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
第５回協議会　資料-7

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の全体スケジュール
(平成15年度まで)

平成16年2月7日

太郎右衛門自然再生地の社会的状況
○旧流路は、横堤によって分けられた3つの池（上池、中池、下池）を中心とした豊かな湿地の自然が発達しており、住民からの自然保護に対する要望は強い。
○旧流路周辺はそのほとんどが民地であり、耕作などによる改変が懸念される。

太郎右衛門自然再生地の自然環境の状況
○乾燥化によって湿地が減少し、湿地に形成している多様な生態系が衰退しつつある。
○洪水による攪乱・更新の頻度の減少、強度の低下により、ハンノキ林を中心とした湿生林が安定・極相化し、高木・壮齢化が進んでいる。



(平成16年度以降の予定)